

山本かよこの

山本香代子

にこにこ通信



心のふれあう江東区、あなたのそばに“開かれた区政を”



- 昭和36年3月18日 深川冬木生まれ A型 魚座
- 昭和42年 双葉幼稚園卒園
- 昭和48年 江東区立明治小学校卒業
- 昭和51年 江東区立深川第二中学校卒業
- 昭和54年 都立東高等学校卒業
- 平成11年 区議会議員 初当選
- 地域活動/深川消防団第6分団班長(現在2期目)

発行: 山本かよこ事務所 TEL 03-3630-2278 FAX 03-3630-8978
〒135-0041 東京都江東区冬木21番22号

✉ 2525kayoko@mx10.ttcn.ne.jp URL <http://www1.ttcn.ne.jp/~yamakayo>

江東区議会 新生クラブ 幹事長(無所属)

討議資料

ご挨拶

新年明けましておめでとうございます。



2007年の幕開け、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

旧年中は格別のご理解、ご協力、ご支援をいただき心より感謝いたします。

今年は私にとって「さらなる飛躍のためへの挑戦」として“礎”を築き上げなければ

ならないと決意し、迎えた新年となりました。これからも初心を忘れず、教育・福祉・まちづくりに全力を尽くすとともに、駅頭での街頭演説を通じ、皆様へのご報告を今後も大切にしていきたいと考えています。本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

山本 かよこ

「協働社会の実現を目指して」

～ 4つの力を基本的な目標として「人間力」のアップに努力していきたいと思います ～

山本かよこ
2007年の抱負

未来を創る



1 情報力

様々な情報を区民の方々と共有し、一緒になって考え、実現可能な提案ができるように取り組む。

2 コミュニケーション力

ダイレクトコミュニケーション(直接対話)を大切に、自分の狭い思い込みだけで考えるのではなく、一人ひとりの区民の声を広く集めることで、それを基礎に具体的な政策の検討に活かしていく。

3 防災力

いざという時のために、消防団の一員としてポンプを作動させるための技術をしっかり身に付け、地域の防災力アップにつなげていく。

4 体力

スポーツを通じて体を鍛え、心身ともに健康な体を作る機会を増やす。江東シーサイドマラソン入賞(30位)を目指して今年こそ減量を成功させたい。

●政務調査費について 本年2月22日開会の平成19年第1回区議会定例会において、政務調査費の収支報告書に領収書原本の添付を義務づける条例改正案の提出を目指すとともに、検討部会を設置し、政務調査費の使途基準などの見直しも併せて協議していく方針が、12月28日の幹事長会で決まりました。これからも区民の方々へ説明責任を果たすとともに、より一層の透明性・公正性を確保する観点から明確にお示しできるようにしていきたいと考えています。



今年の成績: ハーフ一般女子の部 60位
1時間57分48秒

■ 2期 8年間の議員活動を振り返って

年月が経つのは早いもので、私も初めて江東区議会に議席をいただいてから、もう2期8年の時間が過ぎようとしています。この間の議員活動には様々なことがありましたが、今一度現在までの活動を振り返り、自分自身を見つめ、議員としての役割を再認識するとともに、議会自らが変わることによって、行政を変えていかなければならないと感じています。この時代にあった新しい取り組みを進めていく上で意識改革はもちろんのこと、これからの議会は行政が作り上げた政策に対して最終的な「お墨付き」を与えるだけでなく、議会での最終決定に至るまでのプロセスをいかに重視するかという点が重要と考えられます。

より多くの地域住民の政策的意思を「調達」していくために、議会自らが政策に関する議論の場を幅広く持つことができるか、また議会全体として議会での政策決定過程において地域住民との政策議論の場をどのように作っていくかが、私がやるべきこれからの大きな課題と考えています。そのためにも政治力学や慣例にとらわれず、これからも区民の目線に立って考え、責任を持って活動していきたいと思っています。



平成18年第3回 区議会定例会のご報告

(平成18年9月20日～平成18年10月20日)

江東区議会 新生クラブの代表として、大綱2点について質問させていただきました。
全文は、「本会議録の閲覧と検索」(<http://www.db-search.com/koutou/>)をご覧ください。



1. 住民と行政の協働について

質 問	区 長
①自治体経営の区民との「協働」について、区の基本的な考えは。	①より多くの区民の意見を収集し、議会ともども責任ある役割を果たしていく。
②町会・自治会について ア) 住民と行政が対等な立場で協働することのできる、新しいしくみづくりが必要ではないか。 イ) 事務委託内容を精査すべきではないか。 ウ) マンション等、大型共同住宅の多い地域における加入状況は。 エ) 未加入者への区の情報周知は回覧板等、従来の周知方法では限界があると思うが、区の考えは。 オ) 独自のホームページ作成の支援を検討してはどうか。 カ) 転入者に対するお知らせ等、町会・自治会への加入の働きかけを支援すべきではないか。	② ア) 十分な説明を心がけ、連携を図っていく。 イ) 状況に応じた対応をする。 ウ) 加入率は低下している。 エ) 区報等での周知以外にインターネット等の充実を図っていく。 オ) 他自治体の支援状況を調査・研究していく。 カ) 区報等での掲載に向け他自治体の状況を調査している。
③地域が抱えている問題解決に向け、アドバイスや支援できる体制を整備すべきではないか。	③地域実態に応じた支援ができるよう努める。
④住民参加の新たな手法として無作為抽出によるドイツ型の「市民討議会」「討議型世論調査」などを検討してはどうか。	④貴重な区民参加型スタイルとして新たな手法を検討していく。

2. 高齢者施策について

質 問	区 長
①一人暮らし・認知症高齢者等を対象とした見守りサービスの各支援事業を統合し、役割分担を明確にした新事業を構築すべきではないか。	①関係機関と連携し、見守りシステムを構築していく。
②食事サービス事業について ア) 自立支援型配食サービスの利用者数減少に対する区の認識は。 イ) 選択肢を増やすという観点から、自立支援型食事サービスの抜本的な見直しをすべきではないか。 ウ) 自立支援型とふれあい型を統合し、食事サービスの充実を図るべきではないか。	② ア) 調理困難者に限定し食事提供することになったと認識する。 イ) 選択肢の増加を検討し、サービスの充実に努める。 ウ) 統合を視野に入れ検討していく。

これからも住民と行政の協働の実現を目指して提言をし、新住民との地域コミュニティの形成に積極的に取り組んで参ります。さらに豊かな長寿社会に向けて、見守りサービス等の江東区独自の高齢者施策を充実させ、地域ケア体制を整備していきたいと思っています。